

會々木村
飯田村
宇出津町
鶺川村
中居村
富來村
子浦村
飯山村
今濱
神代川尻
堀松村
大嶋村
羽咋村
熊木村
野崎村

右御定所々之外に米預置申間敷事。
一、藏宿并請人聞立候者、所々御奉行に斷相談、指圖次第米可預置事。

一、御奉行に無相談、下に而米預置、若藏宿致引負候はゞ、從公儀御穿鑿被成間敷事。
右被仰出之通相違有間敷旨、与々急度可被觸候。以上。
寛文二年七月十日

三二 御呢近より足輕へ延拂米之儀觸

覺

一、自今以後御呢近、足輕中に延拂米於仕者、其頭并明組足輕は割場御奉行に相斷、裏判可取置事。
一、頭衆或奉行衆裏判於有之者、足輕に被下御切米之積を以、返辨可成程之儀者、吟味之上可有裏判事。
右之通於相違者、相滯候節斷立間敷候條、御組中并御家來可被仰觸候。以上。
寛文四年正月十四日

菊池大學
岡嶋兵庫
横山右近煩

三三 與力知之儀御定

與力知、寄親知行物成同事被下候間、内加州三つ五歩、越中・能州四つ物成與力の遺候。其上之免は寄親に被下候。明知同前々事。

一、與力明知代官、與力之内見計申付可爲致裁許事。
一、明知分免帳寄親より調、兩人加奥書、明知代官に可相渡事。

一、與力之者、對寄親不届之仕合有之、扶持を放、并死去人・欠人代召置候儀、寄親より兩人に斷、聞届可致差圖事。
一、組附無之與力候はゞ、明知有之寄親に圖取を以早々可付事。

一、與力知千石以上、十ヶ一程明知に可仕置事。
一、與力死去跡知行收納之儀、御呢近之面々御定同斷之事。
一、新參に被召出與力、正月より六月迄者、其年之物成不殘被下候。
七月以後者半物成可被下事。
右被仰出之通無相違可有裁許者也。

萬治二年六月初日 御印

今枝民部
津田玄蕃
奥村因幡
前田對馬

横山式部殿
篠原織部殿

三四 領内町方宿・方家數覺

御領國中町方宿方家數

一、千六百五十軒	内三十二軒	寺井村	小松町
一、百三十三軒	内二軒	粟生村	寺井村
一、七十五軒		水嶋村	粟生村
一、四十八軒		源兵衛嶋村	水嶋村
一、四十二軒	内一軒	下柏野村	源兵衛嶋村
一、八十七軒		荒屋柏野村	下柏野村
一、五十六軒		松任	荒屋柏野村
一、五百二十八軒	内四軒	野々市村	松任
一、三百九軒	三軒		野々市村